



撓 ま す 屈 せ ず が ん ば ろ う 釜 石 !

鵜住居地区

発行日：2013年5月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

地域のみなさまと共に検討を重ねてきた復興事業計画についての意見交換、ワークショップの結果報告、提言書の報告、最新の土地利用計画などの説明を行いました。

開催
概要

開催日：平成25年4月19日（金） 時間：19:00～21:00
場所：鵜住居小学校体育館 参加人数：124人



協議会事務局より提言について報告していただきました

3月17日に行われたワークショップと、これまで事務局を中心に協議を重ねた結果を市に提言しました。「二度と同じような悲劇を繰り返さない」を前提とした内容となっています。

《提言内容》

防波堤・水門の整備の急務

鵜住居まちづくりの根底は14.5メートルの防波堤・水門に守られて安全・安心を担保される。

JRの早期復旧の推進 駅を中心とした核施設の整備

まちづくりには交通網の整備が不可欠。主要な公共施設の集約を行い、住民の利便性を最大限に図る。

総合運動公園の設置

駅前に隣接する土地には市民体育館を中心とした運動公園を作り、温浴施設や宿泊施設を併設し、多様な局面で対応可能な施設にする。

新たな商店街の形成

駅前の中心施設の隣接地に、新しい商店街を作り、賑わいの創出を図る。

学校がある高台への避難道の整備

どこからでも高台に上がり、駅前の主要施設からは高架歩行者回廊を設置し、安全に速やかに避難できる経路を確保する。

災害復興住宅の早期着工

住民の意向を尊重して集合住宅や戸建住宅両方を整備し、早期に着工できるよう協議会・地権者連絡会が努力していく。

自立再建の促進と補助の拡充措置

一世帯でも多く、自立再建への取り組みが促進されるよう、自立再建者に対して補助の拡充措置を講ずる。

子供たちをまちづくりに 関わる育成環境の形成

まちの未来を担う人材である子供たちが、市民の一員としてまちづくりへ積極的に参加できる育成環境を作る。

高齢者を支援できる住環境の形成

高齢者のみの世帯増加を考慮し、医療・介護の連携のもと包括支援体制を構築し、まち全体で見守り、支援できる住環境を作る。

※提言の見解等については鵜住居復興新聞第3号に記載されていますので、そちらをご確認ください。

◆これに対して参加者の方々より次のような意見をいただきました

[公共施設について]

(協議会・市からの回答)

- 学校の移転先は川原地区なのか？
山がある谷地地区が避難場所に最適では？
- JR山田線を境に東西に別れ、横断道路がないので、線路の地下道や線路に並行して道路を作つて欲しい。

学校の検討委員会や住民のみなさんと議論をした結果、川原地区の高台となりました。

[住宅再建について]

- 復興住宅の位置はどこか？
 - 自立再建に必要な補助をもっと国に求めて欲しい。
- [その他]
- 役員を絞りこんでスタートした方法に問題があったのでは？もっと住民と一緒に考えて欲しい。
 - 復興内容や図面が住民に知れ渡ってないと思う。

JR山田線の横断道は、震災前からの問題であるので、今後の市の提言に必ず盛り込みたいと思います。

これからみなさんの意見を聴き、まちづくり協議会から市に場所や戸数を伝えていきたいと思います。

住宅再建の補助に関しては追加を検討している支援制度があります。市からも国に働きかけるようします。



いただいたご意見は、今後のまちづくりの参考や提言の検討事項にさせていただきます。

国・県事業の進捗について報告していただきました

◆縦貫道、横断道等の工事状況について

南三陸国道事務所からは事業を行っている復興道路（三陸沿岸道路）、復興支援道路（釜石花巻道路）の工事状況について説明していただきました。現在は、緊急車両が通れるために道路の幅を広げたりする整備を行っています。また、鵜住居地区に近い釜石山田道路では、4つの箇所で工事を行っています。



吉浜～釜石間の釜石花巻道路、釜石～釜石西間の区間については、平成23年度に事業化したため、現在は用地買収を行っています。



◆水門、防波堤の工事について

沿岸広域振興局からは、鵜住居地区の水門と片岸海岸の防波堤の工事状況について説明していただきました。今回の東日本大震災により完全に決壊してしまった防波堤は、復旧にあたり、海面6.4メートルから14.5メートルの高さに設定し、さらに縁を今までより内陸側に移して施工する予定です。また、鵜住居の河口に新たに14.5メートルの水門を設ける計画です。(14.5メートルは、明治三陸津波が仮にもう一度来た場合を想定しての高さ)工事の進捗に関しては、水門の仮締工事の安全祈願祭を3月に行い、現在は工事に向け資材の調達を行っています。

鵜住居地区の土地利用計画について 市役所から報告しました

◆進捗状況について

学校や公共施設の配置を行うため、現在は用地交渉に向けて調査を進めています。また、区画整理をするうえで土地区画整理審議会を設置しなければならないので、選挙によって審議委員を決めていきます。



◆復興公営住宅について

鵜住居地区の復興公営住宅は中心部・日向の二つの地区に整備する計画をしています。戸数は中心部で約135戸、日向では40戸を予定しています。しかし、去年の調査段階では、集合・戸建ての希望を聞いていませんので、これから協議会のみなさんと意見交換を行い調整していきます。

◆住宅再建支援策について

現在の支援制度以外に、国から追加で分配された市町村交付金を活用して、新たな支援制度を検討しています。

◆鎧坂橋の災害復旧について

鵜住居小学校・中学校の鎧坂橋は現在の位置で復旧をする予定です。平成28年3月の完成を目指しています。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。
あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ

釜石市復興推進本部

TEL: 0193-22-2111 (内線192)

FAX: 0193-22-9505